

大阪府作業療法士会 北河内ブロック現職者共通研修 『事例報告会・検討会』の案内

暇生会脳神経外科病院

柳川 明義

(OT 北河内ブロック事例検討会担当)

日本作業療法士協会の生涯教育制度基礎コース必須研修の一環である「事例報告会・検討会」を大阪府作業療法士会では各ブロック単位で開催しています。本事例検討会は数多くの演題が寄せられました。他施設での取り組みや作業療法介入を知ることができる大変貴重な機会です。4月からの新入職員の方の参加も含めて、是非多くの皆様のご参加をお待ちしております。昨年に引き続き令和3年度もオンライン(zoom)での開催となります。すでに報告者の募集は終了しており、募集は「参加者」と「検討者」となります。

(担当：中川、柳川)

○日 時：令和3年4月9日(金) 19:30～22:00(受付開始19:00より)

○参加方法：オンライン研修zoomにて実施

※応募後、当日19:00～会場受付可能となります。

zoom会場へはこくちーズプロページよりご入室ください。

受付後、19:20～zoomへの入室を許可していきます。

○内 容：事例報告・事例検討(現職者共通研修)

本研修の「参加」の方は生涯教育2ポイントの対象です。

○参加費：今回は全て参加無料となります。

○定員：70名

○応募方法：受講を希望される方は、お1人ずつ下記QRコードもしくはURLよりお申し込みください。 ※お申し込み期限：4/6(火)23:59まで



<https://www.kokuchpro.com/event/otkitakawachi4/>

注意点

zoomのバージョンは最新バージョンをご用意ください。

* v.5.3.0よりブレイクアウトルームを自由に移動できるようになりました。

* 上記以前のバージョンは、会場を自由に行き来できないためご注意ください。

A会場B会場の2会場で行いますので、こちらの確認は必要になります。

更新方法についてはお申し込み後、メールにて提示させていただきます。

事例報告会 検討会プログラム

各発表における時間配分は発表7分、質疑応答8分、休憩5分となっております。

休憩の間に会場の移動していただいて結構です。

1. 事例報告会 事例検討会の説明 (19:30~19:45)

2. 演題発表 (19:45~21:45)

A会場

第1セッション (19:45~20:40) 座長：慶生会訪問看護ステーション 村橋 大輔

- ① 食事の自己摂取に着目し、介入した重度脳血管障害の一例
わかくさ竜間リハビリテーション病院 岩下 勇作
- ② 離床拒否患者への傾聴の重要性
医療法人一祐会 藤本病院 今重 光葉
- ③ 重度片麻痺患者のトイレ動作に着目し 上肢機能に介入した症例
JCHO 星ヶ丘医療センター 高木 太一

第2セッション (20:50~21:45) 座長：JCHO 星ヶ丘医療センター 加藤 敏一

- ① 在宅生活におけるサルコペニア予防にアプローチした症例
慶生会訪問看護ステーション 木川 真司
- ② 注意障害と病識の低下を認めた80代男性に対して、入院時自宅訪問や家事動作に着目した一例
わかくさ竜間リハビリテーション病院 北井 愛海
- ③ 選択性注意障害により食事場面で左上肢の参加に時間を要した一症例
社会医療法人 信愛会 暇生会脳神経外科病院 薬師神 夢

B会場

第1セッション (19:45~20:40) 座長：四條畷学園大学 田丸 佳希

- ① 脳梗塞を呈した左下肢切断者に対して車椅子クッションを作成し車椅子乗車時間の延長を図った一例
JCHO 星ヶ丘医療センター 近藤 雅也
- ② 右大腿骨転子部骨折を受傷された70代男性に対し学習行動理論を用いて介入を行った事例
わかくさ竜間リハビリテーション病院 倉田 宏平
- ③ 高次脳機能障害を呈する患者の自宅退院の実現～環境因子を活用して～
医療法人みどり会 中村病院 市川 菜々海

第2セッション (20:50~21:45) 座長：関西医科大学香里病院 下西 徳

- ① 第11、12胸椎圧迫骨折を受傷し、意欲・活動性の低下に焦点を当てた症例
わかくさ竜間リハビリテーション病院 新谷 朋夏
- ② 徘徊を繰り返していた心不全患者に対しての運動療法
医療法人一祐会 藤本病院 上條 麻央

3. 総評